

日本共産党船橋市議団とともに

岩井 友子市議 金沢 和子市議
坂井 洋介市議 佐藤 重雄市議
関根 和子市議 中沢 学市議
松崎 佐智市議 渡辺 優子市議
市議団控室 ☎047-436-3030

日本共産党
県議会議員

丸山慎一 がんばり通信

発行

日本共産党西部地区委員会
〒274-0805船橋市二和東6-41-20
☎047-440-5240 FAX449-7004

右のQRコードでブログを見ることができます。HPは検索。



丸山 慎一 検索

No.383 2017年 8月 6日 (月 2回発行)

marusin@mbn.nifty.com

〔核兵器禁止条約に賛成した国々〕



核兵器禁止条約の採択は、人類史上初めて核兵器を違法化する核兵器禁止条約が7月7日、国連本部で開かれていた「交渉会議」で、122カ国の圧倒的多数の賛成で採択されました。

核兵器禁止条約の採択は、日本の被爆者をはじめ「核兵器のない世界」を求める世界各国と市民社会の多年にわたる核兵器の非人道性を厳しく告発し、国連憲章、国際法、国際人道法にのっとり、違法性を指摘しています。

核兵器禁止の内容として、核兵器の「開発、実験、生産、製造、取得、所有、貯蔵、使用、使用の威嚇」、締約国の領土と管轄地域への核兵器の「配置、導入、配備の許可」などを明記

核兵器禁止条約の採択は、人類史上初めて核兵器を違法化する核兵器禁止条約が7月7日、国連本部で開かれていた「交渉会議」で、122カ国の圧倒的多数の賛成で採択されました。

人類史上初めて核兵器を違法化する核兵器禁止条約が7月7日、国連本部で開かれていた「交渉会議」で、122カ国の圧倒的多数の賛成で採択されました。

国連会議 歴史的な核兵器禁止条約を採択

加盟国の3分の2 122カ国が賛成

核保有国にも参加の道すじ開く

条約では、核兵器の完全廃絶にむけた枠組みを明記し、核保有国の条約への参加の道すじも示しています。

また条約は、「核兵器の使用または実験によって影響をうけた諸個人」に対する支援を、「差別なく十分に提供する」ことを、核兵器によって被害を与えたことのある締約国の責任として明記しています。

これは、長年にわたって被爆者援護を求めてきた被爆者の願いにこたえる画期的な条項となっています。

日本政府は条約に背を向け失望招く

一方、日本政府が、唯一の戦争被爆国の政府であるにもかかわらず、核兵器禁止条約に背を向ける態度をとっていることは、内外の強い失望と

批判を招いています。政府は、従来の立場を抜本的に再検討し、核兵器禁止条約に参加することが強く求められています。

志位和夫委員長が国連会議に参加

核兵器禁止条約を採択した国連会議には、日本共産党の志位和夫委員長が「市民社会」の代表として参加。7月6日には、国連会議のエレン・ホ

ワイト議長と会議場であいさつをかわしました。

ホワイト議長は「おお、ミスター・シイ。3月に続き、またお会いしましたね」と呼びかけました。

志位委員長は、「採択される条約案は国際社会の英知を結集した最良のものと考えており、議長を務めたホワイト議長の大きな努力と貢献に感謝しています」と述べました。

ホワイト氏は「みなさんをはじめとする市民社会の大きな支援と貢献に心から感謝します」とこたえ、両氏は固く握手しました。



国民平和行進が船橋を歩く

7月19日、核兵器廃絶をめざして「原水爆禁止国民平和行進」が船橋市内を歩きました。5月7日に北海道の礼文島を出発した幹線コースで、東北地方の太平洋側を南下。7月12日に千葉県に入りました。最後は、東京の上野が終結点で、全国から平和への思いを広島・長崎に届けます。

丸山慎一県議 活動日誌

- 7・18 地方港湾審議会幹事部会を傍聴
- 7・19 国民平和行進参加／千葉県職員日本共産党後援会と懇談
- 7・20 県議会会議／三番瀬公園違法支出判決を話す会
- 7・21 日本共産党志位和夫委員長駅頭演説
- 7・22 自治体学校分科会で報告

